

パルテック「docomap Trailer」 シャーシ位置情報の正確性に高評価

測位の頻度に課題、年内販売へ

PALTEK(パルテック、横浜市港北区)が準天頂衛星システム「みちびき」の測位補強サービスを用いたシャーシ位置管理システム「docomap Trailer」のトライアルを実施中だが、参加している陸上運送会社やフェリー会社から測位の正確性といった面で高い評価を得ている。その一方で、測位が4回/日のため、「(測位の)頻度を増やしてほしい」といった要望が寄せられているほか、シャーシへの機器の取り付けの難しさを指摘する声もあり、同社ではこうした声を踏まえ、システムを改修しながら年内の本格販売開始を目指す方針だ。

既存の港湾部でのシャーシなどの駐車管理は、管理人が目視で駐車位置の確認を行い、トラック運転手に駐車番号と車両番号を記載した手書きの札を渡すケースが多い。しかし、広い駐車場での位置管理は間違いが起りやすく、シャーシなどが指定場所に駐車されていない場合は、トラック運転手が管理人と一緒にコンテナを探す必要がある。配達期限がある場合はこのような探索が輸送時間のロスにつながる。

こうした中、同社では「docomap Trailer」を開発した。ドコマップジャパンが開発した車両位置情報管理システム「Docomap」と、PALTEKのグループ会社・エクスプローラが開発した準天頂衛星システム「みちびき」のSLASを活用したGPS測位端末を連携させたもの。

トレーラシャーシに取り付けた測位ユニットから得られる静態情報を、ドコマップが提供する「DoCoMAP」のアプリ上で一括確認できるシャーシ位置管理システム。既存の測位方法では10m以上の誤差が生じるが、SLASを活用することで正しく駐車位置を確認できるようになった。



地図画面表示

「docomap Trailer」では専用スマホアプリで端末番号を選択すると位置を表示。事前に駐車場と位置情報を設定すれば、イラストマップで駐車場番号を表示可能。専用アプリは月額制でカスタマイズもできる。

専用アプリでは、メンテナンス日程が近づいたコンテナの位置を表示するほか、同じ駐車場に停車している日程をカウントしてアラーム表示する。

またコンテナが現在、どの港にあるか確認できるのに加え、駐車場のコンテナ位置をスマホで表示することによりコンテナを探す時間を大幅に削減できる。さらにコンテナやシャーシに取り付けた測位ユニットは、そのまま1年程度の電池駆動を実現する。

同社では現在、「docomap

Trailer」のトライアルを実施している。これまでに陸上輸送会社やフェリー会社がトライアルに参加したが、PALTEKの担当者は「測位の正確さを高く評価して頂いている」と手応えを掴んでいるようだ。

一方、位置情報の測位が4回/日のため、「もっと測位の頻度を増やしてほしい」といった声もあるという。ただ、頻度を増やせば、バッテリーの消耗にもつながるため、測位の回数をどこまで増やすかは今後の検討課題だ。

また、測位ユニットをシャーシの外部に取り付けなければならず、「取り付け方法の難しさを感じているトライアル参加者もいる」（PALTEKの担当者）とも語っている。

今後はこうした課題を踏まえ、システムを改修するとともに、トライアルを重ねる。その上で、年内をめどに本格販売を開始する方針だ。

同社では引き続きトライアルユーザーを募集している。Webサイト (https://www.paltek.co.jp/solution/fleetmng/list/docomap_trailer/index.html) 内から申込み可能で、1社1回5ユニットまで、トライアル日数は設置から10日程度となっている。